

——国際現代詩シンポジウム——

詩と幼年時代 2016 7.1 fri

主催◎学校法人城西大学 国際現代詩センター 共催◎思潮社



MODERN POETRY INTERNATIONAL SYMPOSIUM

©HIROSHI YAGI/orion/amanaimages

高旭東氏(中国人民大学) 講演「魯迅 第一作目の小説における日本との関係性」 [11:10~12:40] *日中同時通訳

日中の現代詩人による朗読会と座談会 [14:00~17:00] *途中休憩あり

《中国の詩人》

楊克／梁曉明／樹才／華清／从容／田原

《日本の詩人》

宇佐美孝二／竹内新／新延拳／野村喜和夫／三角みつ紀／水田宗子

学校法人城西大学 [東京紀尾井町キャンパス1号棟地下ホール]

参加費無料 *事前申し込み制 ☎03(6238)8441(水・木曜日10:00~17:00) / ✉kiro@jiu.ac.jp (学校法人 城西大学 国際現代詩センター)

詩と幼年時代

MODERN POETRY INTERNATIONAL SYMPOSIUM

昨年、学校法人城西大学は国際現代詩センターを設立、その後、
中国の北京大学詩歌研究院、北京師範大学、首都師範大学と交流協定を結びました。
日中両国の現代詩ジャンルにおける研究の推進を行っています。今回はその一環として、
中国、日本から詩人たちを招き、「詩と幼年時代」をテーマとした座談会・朗読会を開催します。

高 旭東

Gao Xu Dong

1960年山東省生まれ。中国人民大学教授。山東比較文学学会会長、中国比較文学学会副会長及び学術委員会主任、
中国現代文学研究学会常務理事、北京大学文化研究センター学術委員、清華大学比較文学と文化研究センター研究員、
山東大学文芸美学センター兼職教授、中国社会科学基金学科組評議専門家など歴任。
専門は、魯迅研究、梁実秋研究、中国文化研究。

楊 克 Yang Ke

1957年江西省生まれ。『中国新詩年鑑』、『90年代実力詩人詩選』等の主編を務める。『楊克の詩』、『楊克詩選』など、詩集多数。国内で数多くの重要な文学賞受賞。「民間創作」を代表する詩人の一人。広東省作家協会常務副主席。

梁 曉明 Liang Xiao Ming

1963年上海市生まれ。現在杭州市在住。詩集『暗示』、『髪をふり乱して裸足で』、『前置きの歌』。古典詩現代語訳集『現代語で唐詩を語る』。随筆集『西湖の梁曉明』などがある。小説も多数。「詩江南」雑誌副編集長。

樹 才 Shu Cai

本名陳樹才。1965年浙江省生まれ。北京外国語大学仏語科卒。駐セネガル大使館を経て、中国社会科学学院外国文学研究所。詩集『単独者』、『樹才詩選』等。訳詩集『ルヴェルディ詩選』、『シャル詩選』、『ボンヌホフ詩選』など。

華 清 Hua Qing

本名張清華。1963年山東省生まれ。文学博士。北京師範大学教授。北京師範大学国際創作センター長。1984年詩作発表を開始し、主に当代文学の研究、当代詩の批評に携わる。

从 容 Cong Rong

上海演劇学院卒。前衛現代劇『愛の構想』、創作映画『花季雨季』などの作品がある。中国映画〈金鶏賞〉等、受賞多数。詩集は『秘密の蓮の花』、『我が心従容』、『従容時間』などがある。ジャンルの枠を越えた幅広い活動を展開、劇作家としても活躍している。

田 原 Tian Yuan

1965年中国河南省生まれ。立命館大学大学院文学研究科日本文学博士。日本では谷川俊太郎の研究者としても知られている。『田原詩集』(思潮社現代詩文庫、2014年)など著書多数。2001年第1回留学生文学賞大賞を受賞。2010年第60回H氏賞を受賞。2013年第10回上海文学賞を受賞。

宇佐美孝二 Usami Kohji

1954年愛知県生まれ。人間を戯画化した世界、東洋的宇宙的な世界観の表現を特徴とする。詩集に『ひかる雨が降りそそぐ庭にいて』(港の人、2010年)など。詩と創造賞、中日詩賞、名古屋市長芸術奨励賞他受賞。名古屋市在住。

竹内 新 Takeuchi Shin

1947年愛知県蒲郡市生まれ。名古屋大学文学部(中国文学)卒業。1980～1981年、中国吉林大学外国語学部日本語科にて2年間の日本語講師を務める。詩集『果実集』(思潮社、2014年)ほか多数。中国の詩の翻訳も行っており、訳詩集には駱英『第九夜』(思潮社、2012年)ほか多数。

新延 拳 Ninobe Ken

1953年東京都生まれ。1976年東京大学経済学部卒業。1982年米国インディアナ大学経営大学院修了。更科源蔵文学賞を受賞した詩集『永遠の蛇口』(書肆山田、2008年)など多数。日本現代詩人会理事長。歷程同人。2006年WAC(World Academy of Arts & Culture)より、名誉文学博士号を授与。

野村喜和夫 Nomura Kiwao

1951年埼玉県生まれ。早稲田大学第一文学部日本文学科卒業。詩のみならず、小説・批評・翻訳・比較詩学研究などにも執筆の範囲を広げている。詩集『特性のない陽のもとに』(思潮社、1993年)で第4回歷程新鋭賞、『風の配分』(水声社、1999年)で第30回高見順賞など受賞。

三角みづ紀 Misumi Mizuki

1981年鹿児島県生まれ。美術大学在学中に22歳で現代詩手帖賞を受賞、第1詩集『オウバアキル』(思潮社、2004年)で第10回中原中也賞受賞ほか。詩だけではなくエッセーや小説の執筆もおこなう。ジャンルを超え、あらゆる表現を「現代詩」として発信し続けている。

水田宗子 Mizuta Noriko

1937年東京都生まれ。学校法人城西大学理事長。中学時代から詩を書き始める。詩集に『春の終りに』(八坂書房、1976年)など多数。文学、女性学研究者としても活躍しており、『ヒロインからヒーローへ——女性の自我と表現』(田畑書店、1992年)など研究書も多数。2013年チカダ賞受賞。



学校法人城西大学

東京紀尾井町キャンパス1号棟地下ホール
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26

地下鉄有楽町線『麴町駅』1番出口より徒歩3分
地下鉄南北線『永田町駅』9番出口より徒歩5分
地下鉄丸の内線・銀座線『赤坂見附駅』弁慶口より徒歩8分
地下鉄半蔵門線『半蔵門駅』1番出口より徒歩3分
JR中央線・総武線『四ツ谷駅』より徒歩10分

☎03(6238)8441(水・木曜日10:00～17:00)

✉kiro@jiu.ac.jp(学校法人城西大学 国際現代詩センター)